

# 令和4年度 学生等災害ボランティアリーダー育成事業 活動報告書



## 事業目的

石川県内の大学では、これまで能登半島地震や東日本大震災を契機に災害ボランティアサークル等が立ち上げられ、それぞれ独自に活動を行っています。

こうした中、地域防災力の更なる向上のため、災害ボランティア活動に積極的に取り組んでいる県内の各大学や企業、NPO、県民ボランティアセンター、社会福祉協議会、日本赤十字社などが連携を密にし、県内での災害に迅速かつ柔軟に対応できる体制を整えるきっかけとなることを目指して、平成24年度から研修等を実施しています。

## 令和5年3月

実施主体：公益財団法人石川県県民ボランティアセンター  
学生等災害ボランティアリーダー育成事業研究会

事業に関するお問い合わせ：

公益財団法人石川県県民ボランティアセンター

石川県県民文化スポーツ部県民交流課内  
TEL 076-225-1365 FAX 076-225-1363

## 学生災害ボランティア講座

災害ボランティアについて広く学び、災害ボランティアのあり方について学生自らが考え、これからの災害ボランティア活動に活かしていくことを目的とした講座を開催しました。

日程：令和4年6月18日(土) 10時～17時、7月3日(日) 10時～17時  
会場：石川県地場産業振興センター 本館 第5研修室、石川県女性センター 大会議室  
参加者：19名（石川県立看護大学、金沢星稜大学、金城大学、金城大学短期大学部、金沢工業大学、石川県立総合看護専門学校、一般）

### 災害ボランティアとしての大学生の皆さんの力

金沢星稜大学の池田教授より学生等災害ボランティアリーダー育成事業についての趣旨や平時からの団体相互の情報共有と交流・協働体制の必要性を説明いただき、災害時にどうあるべきかどうするべきかを問題提起していただきました。

### アイスブレイク（クロスロードゲーム）

石川県立看護大学の武山名誉教授からアイスブレイクも兼ねて状況の判断、決断・意思決定、コミュニケーション等を意識して行う「クロスロードゲーム」を実施しました。

災害のさまざまな場面で起こり得る選択について、YesまたはNoを判断します。「多数派」または「オンリーワン」になるとポイントがもらえます。

Yes/Noを判断した理由についてグループで話し合い、他者の考えや意見を理解しました。



#### 参加者の声



グループのメンバーがどのような判断をするのか考えることで自分の意見を見直さきっかけになった。

予想外の意見が出てきて面白かった。ボランティア活動での判断することの難しさを知った。

### 社会福祉協議会の役割

県社会福祉協議会の天日さんから社会福祉協議会の平時・災害時の役割について説明いただきました。

大規模災害時に設置される災害ボランティアセンターの機能や、災害時と平時はつながっており災害時にスムーズに活動を行うためには平時からのボランティア活動が大切であること、被災された方に寄り添った支援を大切に考えている等のお話がありました。

### 災害ボランティア活動のはじめかた

実際にボランティアとして活動している日本赤十字社石川県支部防災ボランティアリーダーの北村さんより、ボランティアを行うまでの流れや経験談等をお話いただきました。

発災からのフェーズによってニーズや活動内容が変化していくこと、被災者とのエピソードや災害ボランティアセンターでの出来事を通してボランティアとしてどうあるべきかを学びました。

## 災害時のリーダーシップとチームビルディング（水害支援）

災害支援・防災教育コーディネーター／社会福祉士の宮崎賢哉氏を講師にお招きし、災害ボランティアでのコミュニケーションやリーダーシップについて学びました。

心理的なストレスがボランティア側にも発生することなど、宮崎氏の体験も交えお話しいただきました。また、さまざまなケースでの被災者との接し方についてグループで考え、発表しました。



法政大学「チーム・オレンジ」のみなさんとオンラインでつなぎ、防災キャンプ等の活動についてご紹介いただきました。

金沢市で大規模な水害が発生し、災害ボランティア活動を行うという想定でグループワークを行いました。

災害ボランティアセンターから活動場所への移動や現地での活動中に起こるさまざまな課題について、リーダーを中心に参加者同士が意見交換を行い、リーダーによる意思決定を行うなどチームのあり方やリーダーシップについて学びました。



リーダー役になったが、さまざまな考えや希望を聞き総合判断するのは本当に大変。リーダーに必要な能力とは何なのか断片的にでも感じられた。

災害ボランティアとして活動するとき、初対面のメンバー達とどのように連携すべきか考えるきっかけになった。現場での柔軟な対応も必要になるのだと思った。



## 1日目の振り返り

1日目と2日目の間が2週間ほど空いたため、池田教授の下、1日目を簡単に振り返りました。

1日目の翌日（6月19日）、珠洲市で震度6弱を観測する地震が発生しました。「災害はいつ起こるかわからない」ということを再確認させられる出来事でした。



## 学生災害ボランティアの活動の現状と被災者・支援者の心理

福井大学の佐藤教授からは、台風と地震による複合災害による被害のあった宮城県丸森町での学生の活動を中心に、さまざまな学生ボランティア活動をご紹介いただきました。

また、看護学の視点から災害によって被災者・支援者に生じる心理的ストレスの原因や症状、経過について講義いただき、災害ボランティアとしての心構えを学びました。



地震災害が発生し、学校の体育館を避難所として運営するという想定でグループワークを行いました。

物資等に限りがあるなか、さまざまな方が避難に来る避難所での課題に運営本部として何を想定しなければならないのかを学びました。



実際に避難所における的確な対応をするには、いろいろな想定をしてあらかじめ対策を練っておくことも大切だと思った。



## 災害時の食事

災害時の食事の現状や災害時に誰でもおいしく時短で調理できる「震災食」について、石川県栄養士の橋本良子氏をお招きしてお話いただきました。災害時に水やガスの使用を最小限に抑えながら温かくおいしい食事を作る方法や、普段からの備えについて学びました。

災害への備えと言え  
ば非常食を揃えるとい  
うイメージだったが、  
食べ慣れたものをス  
tockしておくのは手  
軽にできて良いなと思  
った。

「震災食」という言  
葉だけれども、食事  
の内容は普段のもの  
と変わらないから、  
普段から作っておき  
たいと思った。



## 災害時の衛生環境と応急処置法

北村さんから災害時のトイレ環境や、トイレについて注意しておくべき点についてお話いただきました。

また、身近なものでできる応急処置法や車いすの運び方などを実演を交えながら学びました。



実用的で、た  
めになった。  
毛布や車いすが  
担架として、ビ  
ニール袋がギブ  
スとして使える  
のは驚き。

## 共有ディスカッション

2日間の講座を通しての考えや思ったことを、金沢大学の武田教授より示していただいた「講座で獲得したこと」、「講座への希望・提案」、「大学間交流としての場」の3つを軸にグループで、そして参加者全員で共有しました。



## 災害と企業ボランティアセミナー

県内企業等を対象に、災害ボランティア活動への理解を促進し、平時の企業活動と災害ボランティアとの関わりを考えてもらうきっかけとするセミナーを開催しました。

日程：令和4年7月11日(月) 13時30分～15時00分

会場：石川県地場産業振興センター 本館 第7研修室

参加者：13企業・団体等 16名

災害時の石川県の体制や社会福祉協議会の役割、災害ボランティアについて学んでいただきました。生活協同組合コープいしかわの佐々木智一氏をお招きし、東日本大震災などの被災地での多岐にわたるボランティア活動や、平時からの防災・減災に向けた啓発活動についてご紹介いただきました。



### 内容

1. 災害時の県の体制
2. 災害時の社会福祉協議会の役割
3. 企業の活動事例紹介
4. 「企業の災害ボランティア」って？

自社にもできることを  
検討する際の参考にな  
った。

災害ボランティアの体  
制やどこに連絡したら  
いいかが参考になった。

## 災害ボランティア交流フォーラム

本年度、県内では地震・大雨と災害が続きました。しかし、コロナ禍の中で災害ボランティア活動にも大きな制約がかかっています。そのような時流の中、これからの災害ボランティアのあり方についてさまざまな立場から考えるフォーラムを開催しました。

日 程：令和4年11月19日(土) ポスター展示・発表 12時30分～13時30分  
パネルディスカッション 13時30分～16時00分  
会 場：石川県地場産業振興センター 新館 第12研修室  
参加者：45名（パネリスト、ポスター参加者含む）

### ポスター展示・発表



学生サークル、企業、地域自主防災会の平時からの取り組みや災害時の活動をポスターなどを使ってご紹介いただきました。  
また、当事業のこれまでのあゆみも紹介させていただきました。



### パネルディスカッション

学生、当事業の過去の受講生、企業、地域自主防災会からパネリスト6名をお招きし、石川県立看護大学の武山名誉教授をコーディネーターとして、「災害ボランティアの、これから」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

災害ボランティアとして活動する、職務として真っ先に災害対応に当たる、もし自分自身が被災したら……などさまざまな立場や視点から災害ボランティアに関する思いや課題、期待などを話し合いました。

幅広い年代の方々にご参加いただき、地域の防災訓練での出来事を紹介していただくなど、さまざまな視点から災害ボランティアを考えることのできた大変有意義なフォーラムになりました。



様々な大学、企業による取り組みを詳しく知ることができた。

改めて災害について考え、自分ごととして考える機会になった。

いろいろな立場からみた災害ボランティアの在り方や課題について学びを深めることができたよい機会となった。

## 学生災害ボランティア被災者支援活動促進助成金

当事業では被災地支援活動を行う県内の学生団体に対し、その経費の一部を助成する助成金制度を設けています。コロナ禍によって昨年度、一昨年度は申請がありませんでしたが、本年度は8月に大雨災害のあった小松市における災害ボランティア活動で活用していただきました。

### 今年度事業の成果

県内学生等を対象とした研修では、2日間の日程でグループワークを中心にさまざまなスキルを学びました。コロナ禍の制約が残る中、大学間での交流の場にもなりました。企業向けセミナーでは多岐にわたる活動紹介から参加者もこれからの活動のヒントを得られたのではないのでしょうか。3年ぶりにフォーラムという形式で開催した「災害ボランティア交流フォーラム」では、過去の本事業に参加した学生OBも参加し、さまざまな視点から見た現状と課題を共有できたと思います。

これらのイベントを通じて、災害ボランティア活動の普及と啓発が図られたと感じています。

本年度は6月の地震災害、8月の大雨災害など、災害の多い一年となりました。被災地域において学生・生徒、企業をはじめとしたたくさんの方に災害ボランティア活動に参加いただきました。当事業への参加をきっかけにボランティア活動に参加された方もいらっしゃいました。

引き続き、研修やフォーラムを通して災害時のキーパーソンの育成と平時からのネットワーク形成を推進し、災害に強い地域づくりに資していきたいと考えております。

❖ 学生等災害ボランティアリーダー育成事業研究会

複数の大学や団体に所属するメンバーにより事業内容の検討及び結果の検証を行っています。

【委員長】	池田 幸應	金沢星稜大学 人間科学部 教授
【委員】	武山 雅志	石川県立看護大学 名誉教授
	武田 公子	金沢大学 経済学経営学系 教授
	天日 啓文	石川県社会福祉協議会 ボランティアセンター 所長
	北村 裕一	日本赤十字社石川県支部 防災ボランティアリーダー
	加美 弘行	石川県県民ボランティアセンター 専務理事兼事務局長

❖ 研修等にご協力いただいたみなさま

＜学生災害ボランティア講座＞

宮崎 賢哉 様  
法政大学「チーム・オレンジ」のみなさま  
福井大学 佐藤 大介 様  
石川県栄養士会 橋本 良子 様

＜災害と企業ボランティアセミナー＞

生活協同組合コープいしかわ 佐々木 智一 様

＜災害ボランティア交流フォーラム＞

・パネリスト

石川県立看護大学災害ボランティア・サークルふたば 大場 葉月 様  
金沢大学ボランティアさぼーとステーション 仲村 璃子 様  
金沢市消防局金沢市駅西消防署 吉村 泰紀 様  
穴水町住民課 塩谷 菜摘 様  
損害保険ジャパン株式会社金沢支店 森 雄貴 様  
湊自主防災会 明正 晋一 様

・ポスター掲示

金沢大学ボランティアさぼーとステーションのみなさま  
金沢星稜大学人間科学部アウトドア・スポーツラボのみなさま  
石川県立看護大学災害ボランティア・サークルふたばのみなさま  
北陸学院大学よりそいの花プロジェクトのみなさま  
損害保険ジャパン株式会社金沢支店のみなさま  
生活協同組合コープいしかわのみなさま  
湊自主防災会のみなさま

❖ 後 援

石川県  
社会福祉法人石川県社会福祉協議会  
日本赤十字社石川県支部  
公益社団法人大学コンソーシアム石川

事業の実施に際しては、  
多大なご協力をいただき  
ありがとうございました。



研究会ホームページのお知らせ

学生等災害ボランティアリーダー育成事業研究会ホームページでは、研修のお知らせや事業の様子などを随時更新しています。



URL

<http://saivolustudy.sub.jp/>

石川 学生ボラ研究会

検索



災害ボランティアバンクのお知らせ

石川県では、災害時にボランティア活動を行う意思のある個人・団体で事前に登録していただく方を募集しています。

災害ボランティアバンクに登録された方には、災害に関する研修会や、被災地のボランティア募集情報などをLINEまたはメールでお知らせいたします。

石川県災害ボランティアバンク

検索

詳細、登録はこちら→

